

令和6年 6月 4日

川崎市議会議長 青木功雄様

中原区在住者

ほか 3,539名

三菱ふそう跡地に、市民ミュージアムと緑豊かな憩いの場を
求める陳情

陳情の要旨

- 1 市は、中原区西加瀬の三菱ふそう跡地を買い上げること。あるいは借り上げること。
- 2 市は、市民ミュージアムの移転先を生田緑地ではなく、中原区西加瀬・三菱ふそう跡地にすること。

陳情の理由

中原区西加瀬では、三菱ふそう跡地に、巨大物流倉庫を造るという「西加瀬プロジェクト」が計画されています。一方、等々力緑地にあった市民ミュージアムは生田緑地に移転する計画が進んでいます。この二つの計画は、いずれも納得できる理由に欠けるものです。

住宅密集地に残された貴重な三菱ふそう跡地を活用し、市民ミュージアムや緑地を造れば、防災対策にも最大限活用することができます。

1 中原区西加瀬の物流倉庫の建設計画について

中原区西加瀬では、住宅密集地の中にある三菱ふそう跡地10ヘクタールに、巨大物流倉庫を造るという「西加瀬プロジェクト」が計画されています。倉庫の建物は一辺の長さがおおよそ230m、高さは50mに達し、17階建てのビルに匹敵する建物です。また、この倉庫には昼夜・平日休日に関係なく、1日平均約1,350台ものトラック・乗用車が入り出す計画です。交通量の増加によ

り、交通事故や騒音、振動、粉じん、大気汚染等が悪化し、地域の住環境を破壊します。車の渋滞の影響は苅宿小田中線、尻手黒川道路、ガス橋通り、綱島街道など、広範囲に及びます。このように、西加瀬の物流倉庫は周囲の住環境の悪化をもたらします。

2 市民ミュージアムの生田緑地への移転計画について

等々力緑地にあった市民ミュージアムは、生田緑地のばら苑の隣接区域に移転する計画が進んでいます。開設候補地は、最寄り駅からの距離が長く、かつ勾配の大きな坂道があり、アクセス面に課題があることは市も認識しています。また、開設候補地は生物多様性の保護を掲げる緑豊かな生田緑地内であり、市民ミュージアム建設は景観や貴重な動植物に悪影響を及ぼします。市によると、市民ミュージアム現施設と同規模を前提に施設を整備するものではなく、施設整備に当たっては、必要最低限の規模で整備を図ることとしています。これらのことから、生田緑地は市民ミュージアムの移転先として再検討すべきです。

本市の市制100周年事業として、西加瀬の地に緑豊かな市民ミュージアムを建設してください。